東北復興月間

交流ミーティング in 東京
～「新しい東北」を創る人々～

入場無料

「若者」DAY

2016年6月 開催カレンダー

★「若者」DAY ★「アート」DAY ★「女性活躍」DAY
★「新しい東北」マルシェ ★「新しい東北」写真展

Sun	Mon	Tue	Wed	Thu	Fri	Sat
29	30	31	1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11 ★★
12 ★★★ 「若者」DAY	13 ★	14 ★	15 ★	16 ★	17 ★	18 ★
19 ★★	20 ★	21 ★	22 ★	23 ★	24 ★	25 ★
26 ★★	27 ★	28 ★	29	30	1	2

MAP

全国の小中高校生を対象とした「新しい東北」作文コンテストの表彰式や、被災地の高校生等による復興の取組発表を行います。
また、日本の将来を担う若者との意見交換や、
全国から集った大学生によるワークショップなども行います。

日時 2016年 6月12日(日) 12:45～17:30

場所 3331 Arts Chiyoda (アーツ千代田 3331) 体育館(2F)
〒101-0021 東京都千代田区外神田6丁目11-14

スケジュール

オープニング 12:45～13:00
・挨拶および来場の学生へ向けたメッセージ

作文コンテスト・ポスター表彰式 13:00～13:45
・学生作文コンテスト受賞者表彰式
・ボランティア促進キャンペーンポスターキャッチコピー受賞者表彰式

学生による発表・意見交換等 13:50～15:20
・東北3県の高校(福島県立ふたば未来学園高校、宮城県石巻西高校、岩手県立大槌高校)の生徒による取組発表
・東京学芸大学附属小金井中学校の生徒による取組発表
・未来を担う若者との意見交換

ワークショップ 15:30～17:30
・復興支援ボランティア活動を行う学生によるワークショップ
テーマ:「今だからできること ～復興の先を見据えて～」

復興庁 Reconstruction Agency
新たなステージ　復興・創生へ

主催: 復興庁
お問い合わせ:「東北復興月間」イベント事務局　TEL: 03-6280-0120

新しい東北

オープニング 12:45〜13:00

●挨拶および来場の学生へ向けたメッセージ

作文コンテスト・ポスター表彰式 13:00〜13:45

●学生作文コンテスト受賞者表彰式

震災5年目のこの機会で、東北を思い返し、考えてみる。東北が自分のふるさとでも、東北から遠い所に住んでいても、新しい東北に向かって、何ができるか考えてみる。「新しい東北」作文コンテストには、日本全国・海外の若者たちから2000通を超える応募がありました。応募作品の中から、小学生部門、中学生部門、高校生部門の受賞者各3名を表彰し、受賞者よりスピーチを行います。

●平成28年ボランティア促進キャンペーンポスター キャッチコピー受賞者表彰式

復興庁では平成24年度から毎年、大学生の方々を中心に、夏休みなどの長期休暇を利用した被災地におけるボランティア活動への参加を呼びかけるキャンペーンを実施しています。平成28年度は「東北の「いま」を知る。東北で「これから」を考える。さあ、共に。」をテーマとし、キャンペーンポスターのキャッチコピーを公募いたしました。今回はその中から優秀作品を表彰し、受賞者によるスピーチ、今回のキャンペーンポスターの発表を行います。

学生による発表・意見交換等 13:50〜15:20

●東北3県の高校（福島県立ふたば未来学園高校、宮城県石巻西高校、岩手県立大槌高校）の生徒による取組発表

〈ふたば未来学園高校 発表内容〉

昨年4月に原発事故の影響で一時は全住民が避難した福島県双葉郡に、ふたば未来学園高校が開校しました。震災当時、小学4年生であった発表者2人は、この5年を経て再び双葉郡で学んでいます。これまでの成長と、これからの学び、そして復興に向けた気持ちをそれぞれ発表します。

〈石巻西高校 発表内容〉

5年前の東日本大震災。本校は避難所・遺体安置所となり、11名（在校生9名・入学予定者2名）の命が犠牲となりました。苦しい状況の中、失った笑顔を取り戻すために生徒はどのように歩み続けてきたのか。そして、5年経った今、先輩方の思いを受け継ぎ、前に向かい続ける私たちの取組を発表いたします。

〈大槌高校 発表内容〉

本校復興研究会は、東日本大震災の2年後に発足しました。主な活動は、「定点観測」「町づくり」「他校交流」「広報」ですが、その他にも復興に係わる様々な活動を行ってきました。本日は、その活動を報告いたします。

●東京学芸大学附属小金井中学校の生徒による取組発表

〈発表内容〉

国語や社会、総合、課題研究の時間で、東日本大震災からの復興について学んできました。また4月には岩手県宮古市立田老第一中学校の「田老を語る会」が本校で開催されました。復興について学んで感じたことを発表します。

●未来を担う若者との意見交換

会場に来場の皆様と一緒に、東日本大震災の経験を乗り越えて、日本の未来をどう作っていくかなどについて、意見交換を行います。

ワークショップ 15:30〜17:30

●復興支援ボランティア活動を行う学生によるワークショップ

テーマ「今だからできること　〜復興の先を見据えて〜」

復興支援ボランティア活動を行う学生が全国各地から集まり、グループに分かれてそれぞれの取組内容や今後のボランティア活動について議論し、これからの東北復興を考えるワークショップです。東日本震災から5年たった今だからこそ、自分たちにできることは一体何なのかを、学生の視点で検討し、今後の活動につなげていきます。